

2022 年臨床神経学電子ジャーナル全文 PDF 閲覧回数年間トップ 30

(集計期間 2021 年 11 月 1 日～2022 年 10 月 31 日)

	掲載号	種別	著者名	タイトル	閲覧回数
1	52 巻 7 号	総説	安藤 哲朗	頸椎症の診療	54,306
2	49 巻 6 号	総説	高草木 薫	大脳基底核による運動の制御	47,109
3	55 巻 4 号	短報	澤村 正典	陰部むずむず感で発症したパーキンソン病の 1 例	33,270
4	49 巻 11 号	教育講演 2	飯塚 高浩	抗 NMDA 受容体抗体脳炎の臨床と病態	27,128
5	49 巻 2 号	総説	鈴木 匡子	高次脳機能障害の診方	24,440
6	51 巻 7 号	総説	目崎 高広	ジストニアの病態と治療	24,255
7	50 巻 11 号	シンポジウム 11-1	山本 康正	Branch atheromatous disease (BAD) の概念とその臨床的意義	19,457
8	60 巻 9 号	総説	鈴木 圭輔	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) と頭痛	19,026
9	60 巻 6 号	総説	山本 康正	大脳深部の血管構築と皮質下梗塞	18,923
10	55 巻 7 号	総説	廣瀬 源二郎	Barré 試験と Mingazzini 試験—Mingazzini 原著の重要性—	17,260
11	50 巻 11 号	シンポジウム 11-4	武田 英孝	BAD をどう治療するか	16,994
12	53 巻 11 号	教育講演 (4)-3	石田 和之	神経内科に役立つ漢方薬：症例と頻用処方	15,081
13	53 巻 11 号	教育講演 (4)-2	宮井 一郎	脊髄小脳変性症のリハビリテーションの実際	14,745
14	51 巻 11 号	シンポジウム 22-2	巨島 文子	延髄外側梗塞 (Wallenberg 症候群) による嚥下障害	14,179
15	54 巻 4 号	総説	山本 康正	Branch atheromatous disease の概念・病態・治療	13,385
16	52 巻 11 号	シンポジウム (3)-3-5	米田 誠	橋本脳症の診断と治療	13,259
17	61 巻 6 号	短報	足立 洋	自己免疫性 glial fibrillary acidic protein (GFAP) アストロサイトパチーの 1 例	13,145
18	48 巻 11 号	教育講演 3	大槻 美佳	失語症の診療—最近の進歩—	12,970
19	49 巻 4 号	総説	安田 斎	糖尿病性ニューロパチーの病態と治療	12,938
20	50 巻 6 号	総説	田中 恵子	傍腫瘍性神経症候群と抗神経抗体	12,850
21	51 巻 11 号	シンポジウム 25-3	城倉 健	脳幹・小脳の血管障害によるめまい	12,179
22	53 巻 11 号	シンポジウム (4)-3-2	藤井 俊勝	記憶は脳のどこにあるのか？	12,024
23	52 巻 11 号	シンポジウム (1)-9-4	生井 友紀子	小脳と構音障害	11,591
24	48 巻 4 号	原著	吉村 元	救急現場におけるてんかん重積状態の臨床的特徴～非痙攣性てんかん重積状態 nonconvulsive status epilepticus の重要性について～	11,294
25	48 巻 11 号	教育講演 6	木村 和美	脳梗塞急性期の診断と治療	10,702

26	60 卷 10 号	総説	柴田 護	CGRP 関連抗体による片頭痛の新規治療	10,597
27	60 卷 10 号	総説	曾根 淳	神経核内封入体病 (neuronal intranuclear inclusion disease; NIID)	10,364
28	53 卷 3 号	総説	榊原 隆次	神経内科と膀胱～排尿の神経機序と排尿障害の見方・扱い方～	10,361
29	53 卷 6 号	原著	林 欣寛	種々の疾患にともなう首下がり症候群の病態生理学的分析—表面筋電図所見と理学療法の効果から—	10,359
30	52 卷 11 号	シンポジウム (3)-2-3	大槻 美佳	FTLD：言語および関連症候の特徴とその診方	10,156

※責任著書の所在が明らかでない場合は一番初めの方を抜粋しております。

